

# ゼオンポリミクス株式会社 大津事業所

ゼオンポリミクス株式会社は、日本ゼオン株式会社の合成ゴム事業展開の一環としてゴムコンパウンドの製造を担う会社として1967年に設立されました。

日本ゼオンの持つ優れた合成ゴムと、設立以来培われた当社のコンパウンド技術が相乗し、工業用ゴム部品などの素材として当社ゴムコンパウンド製品は多くの分野で使用されています。

特に耐熱性、耐油性、耐磨耗性などの特殊ゴムコンパウンド分野では、自動車の機能ゴム部品の素材として使用されるなど、多くのお客様から厚い信頼を得ております。



## 会社概要

- 名称 ゼオンポリミクス株式会社
- 設立年月日 1967年4月7日
- 社員数 90名
- 資本金 240百万円
- 本社所在地 埼玉県比企郡川島町上伊草941-1  
TEL 049-297-1511 FAX 049-297-1511
- 事業所 大津事業所  
滋賀県大津市石居1-11-1  
TEL 077-546-1222 FAX 077-546-0338  
川越事業所  
埼玉県比企郡川島町上伊草941-1  
TEL 049-297-1511 FAX 049-297-1511
- 営業品目 成型用ゴムコンパウンド(CM)  
(自動車部品を始めとした各種ゴム部品の成型加工メーカー向けの合成ゴムや天然ゴムにカーボンブラックや各種薬品を混合したゴム加工中間製品)

## 1. マネジメントシステム

当社はISO9001とISO14001の要求事項を網羅した当社独自のQEMSを構築し、品質・環境の2つの輪を以って、安心と信頼でお応えします。

### 1. QEMSとは

Quality (品質)

Environment (環境)

Management・System (マネジメントシステム)

のそれぞれの頭文字を取ったもので、ISO9001及びISO14001に適合した当社のマネジメントシステムをいう。

# ゼオンポリミクス品質・環境方針

・ゼオンポリミクスは、環境・安全を守ることを企業理念とし、全てに優先させています。そして、優れた技術力を積極的に活用し、徹底した品質管理体制を構築して、各種ゴムコンパウンドを提供することで社会に貢献しています。

・ゼオンポリミクスは、「ベンチマーキング」を常に念頭に置き、製品品質及び会社品質で業界ナンバーワンを目指します。

・ゼオンポリミクスは、顧客指向、法令遵守、環境保全を融合させた品質・環境マネジメントシステム(QEMS)を全員参加で構築し、たゆまず活動していきます。

・ゼオンポリミクスは、企業の社会的責任(CSR)を重視し、行動します。

## 1. 顧客指向の品質作り

最適なサプライチェーンにこだわり、常に顧客の視点から考え行動し、顧客の満足度の向上に努めます。

- ① 安定・安全な生産工程の維持向上
- ② 工程での品質保証体制の継続した作りこみ
- ③ 顧客ロイヤルティの強化

## 2. 関連法令その他の要求事項の遵守

製品及び、環境側面に関連する法規制並びに、当社が従うべきその他の要求事項を明確にし、それに適合させます。

- ① 遵法状況の定期的確認と改善
- ② 法令教育の計画的実施

## 3. 環境負荷の低減

地球環境・地域環境保全の重要性を認識し、資源利用の効率化を事業活動の柱とします。

- ① 省エネの推進
- ② 産業廃棄物量の削減
- ③ 環境負荷原料の代替推進

## 4. 品質・環境マネジメントシステム(QEMS)の継続的改善

品質・環境のパフォーマンスを増進するため、QEMSの妥当性を確認し有効性を検証します。

- ① QEMS内部監査の質的向上
- ② マネジメントレビュー(MRm)の定期的実施によるQEMSの見直し

## 5. 企業の社会的責任(CSR)の重視

「社会の公器」として、社会から信頼され、社員も働く誇りを感じる会社を目指します。

- ① ゼオン7条行動指針(コンプライアンス行動指針)の遵守

2008年11月01日

ゼオンポリミクス株式会社

代表取締役 山本 誠

## II. 認証登録状況

ISO9001 : 2000 登録日：2001年12月  
ISO14001 : 2004 登録日：2004年06月

## III. 環境負荷低減への取り組み

### 1. 省エネの推進

#### ①方針及び目標

環境負荷低減の取組として省エネルギー、原単位削減を重点化して活動を進めています。管理項目としてエネルギーの使用量（原油換算、KL）に対する製品の生産量（トン）を尺度として原単位の改善を図っています。

ゴムコンパウンドの生産は電力使用量が大きな比率を占めており省エネ機器の導入、生産性改善、ムリ・ムダ・ムラの削減が大きな要因となります。

方策展開の進め方としては2001年度の原単位を基準とし、年度毎の目標値を前年比1%改善とする計画を設定しました。

#### ②活動実績と成果

2005年度より第二種エネルギー管理指定工場となり、2006年度より省エネルギーに関する推進会議を毎月開催し、その中で省エネルギー対策提案・審議・決定を行い実施結果の確認及び管理を行っております。

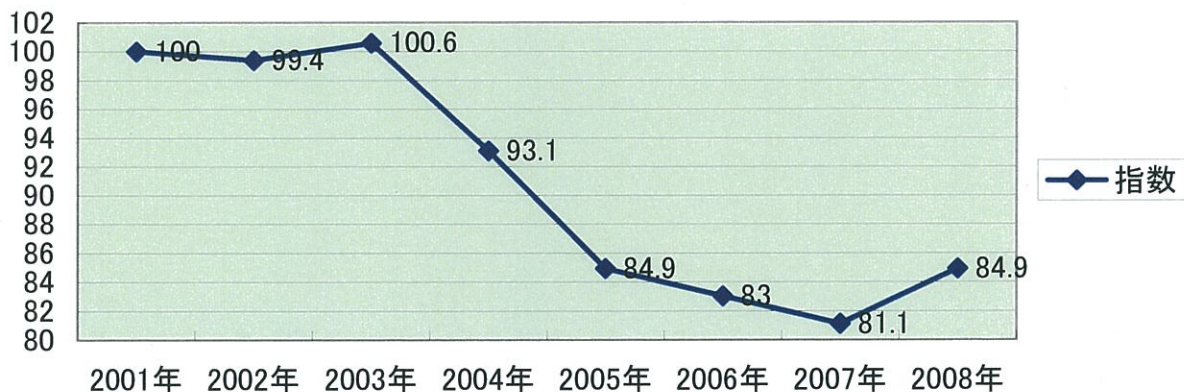
又、環境月間においては省エネルギーに関する提案募集及び、表彰を行い全従業員へ省エネルギーに対する意識の定着・向上を図っております。

3M（ムリ、ムダ、ムラ）改善取組み、生産効率の向上による使用エネルギー低減にも努めており、省エネ改善への設備投資を実施してきました。

しかし、2008年度は下期の受注減に伴う生産量低下により原単位は大きく悪化しました。

2009年度は省エネ法の改正に伴う社内体制を整え、2010年度からのゼオンポリミクス全社体制としてのエネルギー削減への取り組みを進めていきます。

エネルギー原単位の推移（2001年度を100とした指数）



## 2. 産業廃棄物の削減

### ①方針及び目標

地球環境・地域環境保全に基づく資源利用の効率化を事業の柱とし、当社製品であるゴムコンパウンドの廃棄量削減について重点的に取り組んでおります。

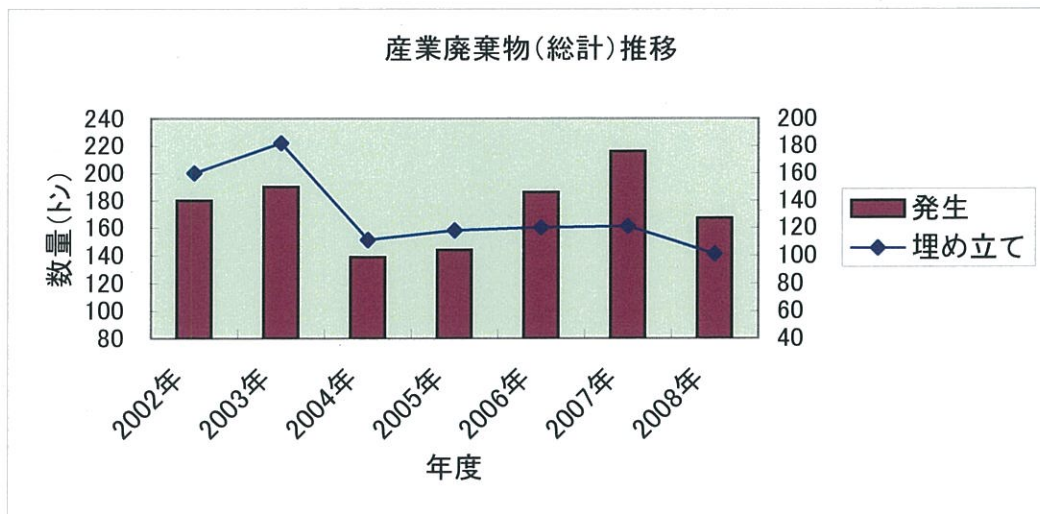
3M(ムリ、ムダ、ムラ)の観点より工程内ロスの削減、作業方法の改善等について全従業員が提案を行い、良い提案を積極的に採用し継続的改善に努めております。

日本ゼオン㈱の『CSR報告書』に、関連会社における環境関連データとしてエネルギー使用量とともに廃棄物の発生量及び埋立処分量を公表し、中長期目標を設定した環境保全への改善取り組みを進めています。

### ②活動実績と成果

2008年度は品質関係の取り組み改善の結果、産業廃棄物量は大きく削減されましたが依然として埋立処分量は多く、地球環境・地域環境保全の重要性を掲げた当社品質環境方針の展開からも更なる強化した取り組みが必要と考えています。

2009年度への課題としてゼロエミッション化として、包装材料・ゴム屑等リサイクル可能なものについても積極的に実施取り組み、発生量削減と共に埋立量の削減を目標設定し産業廃棄物のリサイクル化向上を進めています。



## 3. 環境負荷原料の代替促進

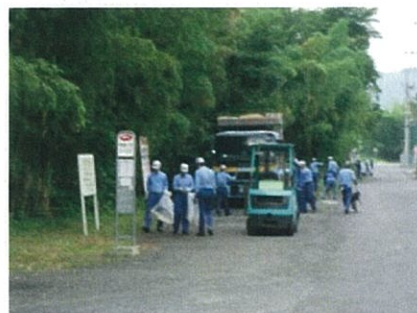
環境負荷の低減としてP R T R対象物質の代替促進と使用量管理を図り、第一種指定化学物質の排出量及び移動量は下記内容にて日常管理を行い、経済産業大臣への報告を行っております。P R T R対象物質からの代替変更及び顧客からの受注量により使用量は大幅に減少しています。

P R T R対象物質の推移

|           | 2002年 | 2003年 | 2004年 | 2005年 | 2006年 | 2007年 | 2008年 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 対象物質数(品種) | 5     | 7     | 6     | 6     | 6     | 6     | 5     |
| 使用量(トン)   | 340   | 262   | 214   | 161   | 164   | 171   | 90    |

#### IV. 地域との共生

1. 定期的に事業所周辺の清掃活動を実施し、地域美化への協力を行っております。



2. 災害時の想定訓練、消火訓練、緊急時呼出し訓練を定期的に行い不測の事態にも備えております。



3. 事業所内にAEDを設置し、消防署のご協力により救急訓練を行ないました。  
又、外部への貸与を可能とする為、AED設置を大津市のHPに登録しました。



#### 4. 地域自治会への協力

地元自治会の要請に基づき、『こども110番の家』への協力を実施しました。  
通学途中における小学生のトイレ利用が見られています。



#### 5. 大津市市民駅伝大会が2月2日（日）に開催され、大津事業所前が中継地点となり、 トイレ・休憩場の提供を実施しました。



### V. 環境関連法規の遵守

当社の仕組みとして事業活動に関連する法規を定期的に確認し、法規と実態の整合性確認を実施しております。

法規と実態の整合性確認により環境関連に留まらず労働安全衛生、品質等、あらゆる事への継続的改善へつなげるマネジメントシステムのもと日々、遵法に関する活動を行っています。